



作・まみお

ユネスコ無形文化遺産登録後初の 新庄まつりが盛大に開催されました!! 過去最高55万人の人出!

8月24日(木)~26日(土)の3日間、昨年12月のユネスコ無形文化遺産登録後初となる新庄まつりが開催されました。

24日の宵まつりでは、歌舞伎、歴史物語の名場面を見事に表現した豪華絢爛な20台の山車に照明が灯されお囃子の音色とともに、街全体が幻想的な雰囲気になりました。今年はユネスコ登録を記念し、駅前広場アビエスで吉村知事があいさつを行いました。

25日の本まつりでは、足軽の息のあった足さばきや傘回しの妙技など神輿渡御行列のあと、全20台の山車行列が巡行され、満員の観覧席に山車が入場するたびに大きな拍手が沸き起こりました。

26日は、日中、飾り山車として、全20台の山車が中心商店街に集結、鹿子踊りや、若連による山車の見どころ解説、まつり囃子体験なども行われ、たくさんの人で賑わいました。



ユネスコ登録後初となる今回の新庄まつりでは、最上総合支庁や最上地域観光協議会など最上地域が一丸となってまつりを盛り上げ、地域経済の活性化につなげるため、様々な新しい取り組みを行いました。

一つ目として、新庄まつりの最大の特徴である「山車を地域の人が毎年自ら制作する」ことを活かし、山車連盟等の協力を得て、「山車制作体験」を7月29日と8月5日の2回実施しました。参加者の皆さんは、紙貼り作業等を体験した後、若連の皆さんと交流。まつりにかける若連の皆さんの熱い思いや苦労話などを聞き、地域の方が支える新庄まつりの素晴らしさを改めて感じる事ができました。

二つ目として、新庄まつりに訪れる客人をもてなすため、各家庭の女性たちが心をこめてつくるおもてなし料理「まつりごっつお」を中心とした「新庄まつり弁当」を、山形県料理飲食業生活衛生同業組合新庄支部の協力のもと企画・販売し、多くの方々にまつりを支える女性の姿や最上地域の食の魅力を感じていただきました。24日、吉村知事は宵まつり観覧の前に佐藤栄一氏宅を



訪れ、「からかいの煮付け」や「昆布巻きニシン」などをいただき、「まつりごっつお」を守る女性の新庄まつりへの思いや、おもてなしのお話をお聞きしました。

三つ目として、新庄市以外の最上7町村の小学生を対象にした「山車の曳き手体験」を25日の本まつりで実施しました。参加した子ども達は、それぞれの若連の法被を着て、懸命に、そして誇らしげに山車を曳いていました。



まつり期間中の24日、25日の両日には、きらやか銀行新庄支店前で、最上地域8市町村の「食」が揃い踏み「はいっとう!もがみ情熱市場」を開催し、多くのお客様で賑わいました。また、まつり期間中に運行されたJRの臨時列車の発着に合わせ、新庄駅や列車内で、乗客の皆さんへ心を込めておもてなしを行いました。 地域産業経済課観光振興室 29-1311

知事と若者の地域創生ミーティングin新庄市 を開催しました

8月2日(水)、「知事と若者の地域創生ミーティング in 新庄市」を新庄市の新庄市民プラザで開催し、高校生2人を含む10~40歳代の男女10人が知事と意見を交わしました。

参加者からは、「空き家・空き店舗を活用して地域の振興を図りたい」、「家庭で食事をとれない子どもがいることを知った。『子ども食堂』をやってみよう」という発言がありました。

ミーティングの後半では、参加者同士でフリーディスカッションを行い、「今の高校生はどんなところに集まっているのか」、「10年・20年後はどんな街になっているか」など、自由に意見を交わしました。

最後に吉村知事は、「よりよい地域にするために、『ここを良くしたい』という熱意が大事だと思う。一人ではできないことでも、みんなで助け合えばきっとできると思うので、人と人の縁を大切に、絆を深めてこの土地を良くしていってほしい」と話しました。



総務課 29-1360

「最上地域出身看護学生と地元高校生との交流会」を開催しました

8月15日(火)、県立新庄病院において、最上地域出身の看護学生と地元高校生との交流会を、初めて開催しました。この交流会は、地元出身の看護学生から話を聞くことで、医療職を目指す高校生のモチベーションアップを図るため開催したもので、最上地域保健医療対策協議会主催の看護学生研修会に合わせて実施しました。

交流会では、看護学生から目指したきっかけや大学生活等の話をいただいた後、高校生から、看護職になるため高校時代に頑張っておくことは何か等の質問が行われました。終了後には、県立新庄病院のご協力により院内見学も行われ、高校生からは、「看護学生から普段から気になっていることを聞くことができた」「病院内で通常見ることができないところを見学できて良い経験だった」といった感想が寄せられました。

保健企画課 29-1257



小・中学校教員研修 地元企業見学 & 交流会

8月2日(水)、最上管内の小中学校等の教員17名の参加のもと、地元企業見学や企業の方々との交流会を開催しました。教員が地元企業の理解を深め、授業等で地元企業について取り上げてもらうことで、キャリア教育、地元定着につなげていくことを目的に実施しました。

企業見学を行う前に、「子どもを地元定着させるため」に何ができるかについて、教員と企業で活発に意見交換を行いました。その後、最上管内の製造業を中心とした企業5社を見学しました。

参加教員からは「企業の見学受入態勢が整っているのがわかり、これから活用していきたい」「教え子が働いている姿をみて、地元に残り、地域や家族を支えていることを実感した」といった感想が寄せられました。



地域産業経済課 29-1309

もがみ介護人材確保推進ネットワーク協議会を設立しました

7月31日（月）、最上総合支庁講堂において、介護事業所・教育機関、行政機関等関係者による「もがみ介護人材確保推進ネットワーク協議会」の設立総会を開催しました。



今年度は、地域における介護人材の不足について「介護人材育成専門部会」と「介護職環境改善専門部会」を設置して有効な方策を検討することとしました。

具体的には、以下のような内容について話し合い、年度末の総会で報告する予定です。

- 介護職を希望する学生の動機づけやイメージアップの方法
 - 職員の資質向上や資格取得支援のあり方、働きやすい職場環境 など
- 地域保健福祉課 29-1276

クルーズ船「コスタ・ネオロマンチカ」 酒田港への初寄港

8月2日（水）、酒田港に外国船籍のクルーズ船として初めて「コスタ・ネオロマンチカ」が寄港しました。

「コスタ・ネオロマンチカ」は、イタリア船籍で、全長220.6m、乗客定員1,800人、乗組員約600名で、着岸した酒田北港古湊ふ頭では、酒田市民の皆さんによる歓迎行事が盛大に行われました。歓迎行事には、戸沢村のキャラクター「せんどう君」も登場し、人気を集めていました。

岸壁では、物産展も開催され、最上地域からも5つの店が出店し、最上地域の「食」や物産などをPRしました。また、停泊中に行われたオプションツアーでは、最上川舟下りが一番の人気。約100名の皆さんが参加し、乗船したお客さんから最上の魅力を実感していただきました。



地域産業経済課 観光振興室 29-1311

若手ねぎ生産者研修会の開催

最上地域は県内一のねぎ産地で約7億円の販売額があります。8月28日（月）に、その産地を担う若手ねぎ生産者を含む19名が集まって研修会を開催しました。今回は、主要病害虫の防除体系や、カラシナ処理等による土壌病害対策について研修しました。「若手ねぎ研究会」は、地域を牽引する若手ねぎ生産者の技術向上を目的に、平成25年より活動しており、農業



技術普及課では、若手生産者の主体的な活動とリーダーの育成を支援しています。

農業技術普及課
29-1333

四ヶ村棚田ほたる火コンサート

8月5日（土）、14回目となる「四ヶ村棚田コンサート」が大蔵村で開催されました。

コンサートでは、ピアノやオカリナ、パーカッション、サクスの演奏に、大蔵中学校の生徒もゲスト出演。棚田に流れる素朴な音色に大勢の観客が酔いしれました。ペットボトルで作られた灯籠に、中学生の手により「ほたる火」が点火され、辺りが暗くなるにつれて、綺麗なお月さまがステージ後方に現れ、会場はさらに幻想的な雰囲気になりました。

地域産業経済課
観光振興室
29-1312



お知らせ

県立新庄病院健康まつり

「仁・愛・和～病院まつりでつながろう！私たちの地域と未来～」

【日時】平成29年9月10日（日）10:00～13:00

【場所】県立新庄病院

【内容】ちびっこドクター・ナース、模擬調剤等の体験コーナー、健康相談室、救急車・パトカー展示など、催し物を多数準備します。皆さんでご参加ください！ 保健企画課 29-1257

9月10日～16日は『自殺予防週間』です

9月10日の世界自殺予防デーにあわせ、16日までの1週間は自殺予防週間とされております。

自殺対策の推進には一人ひとりが自殺に対する偏見をなくし、正しい知識を持つことが必要です。

最上総合支庁正面玄関ロビーにパネル等の展示を行います。ぜひお立ち寄りください。

地域保健福祉課 29-1266

9月は「健康増進普及月間」です

『健康』は何物にも代えがたい人生の宝です。バランスのとれた食事や運動習慣、禁煙など、普段の生活習慣を見直してみませんか。まずはやれそうなことから、少しずつ取り組んで継続することが大切です。『1に運動2に食事しっかり禁煙 最後にクスリ～健康寿命の延伸～』



地域保健福祉課 29-1267

東日本チェーンソーアート競技大会の開催

【日時】9月9日（土）9:00～16:00 メイン会場

9月10日（日）9:30～14:00 スピート会場

【場所】金山町有屋「山形県遊学の森」

【内容】10日は体験コーナー、森のコンサートなどのイベントもあり

【参加料】無料（ツリーイングのみ有料）

森林整備課 29-1348

女性活躍推進先進企業視察研修

「女性活躍」を経営戦略として、企業成長や人材確保に活かしている先進企業の見学バスツアーです。

【日時】平成29年9月12日（火）9:00～17:15

【訪問先】①株KDDIエボルバ山形センター（山形市）

②株マイスター（寒河江市）

【対象】最上管内の事業所の経営者・人事担当者等

地域産業経済課 29-1309

事業承継セミナーの開催について

【日時】平成29年9月13日（水）18:00～20:00

【場所】ベルフオール新庄玉姫殿

【テーマ】事業承継の進め方

～従業員、第三者への引き渡し～

【講師】新日本有限責任監査法人金融部パートナー
公認会計士 久保澤 和彦氏

【参加費】無料

【申込期限】平成29年9月8日（金）

地域産業経済課 29-1307

高坂ダムの流木を無償で提供します

【日時】平成29年9月15日（金）9時30分から
9時15分から現地で整理券を配布します。
（なくなり次第終了）

【場所】高坂ダム管理課庁舎裏の広場

【内容】①先着10名 ②1名あたり軽トラック1台分程度 ③流木を30～70cmに小割してあります。

提供の条件がございますので、詳しくは県ホームページをご覧ください。高坂ダム管理課へお問合せください。

高坂ダム管理課 63-2344

参加店舗 500円以上のレシート2枚で
もがみの美味しいものやお買物券をどうぞ！

もがみ産直キャンペーン

9月16日（土）～25日（月）

| 参加店舗 | イベント内容 |
|---|-------------|
| 1 大蔵屋 9/16(土) 9/17(日) 10/12(日) 10/13(日) | もがみ産直キャンペーン |
| 2 大蔵屋 9/16(土) 9/17(日) 10/12(日) 10/13(日) | もがみ産直キャンペーン |
| 3 大蔵屋 9/16(土) 9/17(日) 10/12(日) 10/13(日) | もがみ産直キャンペーン |

第2回もがみ産直キャンペーン

9月16日（土）～25日（月）
管内産地直売所等12店舗で最上産「つや姫」や参加店舗お買物券などが当たるレシートラリーを開催します。各種イベントや彼岸セールも同時開催。

農業振興課 29-1315

発行日：平成29年9月1日

発行元：山形県最上総合支庁総務企画部総務課総合案内窓口

電話：0233-29-1360 FAX：0233-23-2605

HP(<http://www.pref.yamagata.jp/ou/sogoshicho/mogami/314001/eco-polis.html>)でもご覧いただけます。

